

社会資本マネジメントと NPO - 協働型社会への招待 -

NPO 研究小委員会 委員長 渡邊 法美
委員 三浦 良平
委員 二宮 仁志
幹事 寺井 和弘

1. はじめに

多くの人々の声を効果的・効率的な社会資本マネジメントに反映する担い手の一つとして、近年 NPO（非営利団体）が注目されている。

今後は NPO を軸とした多様な協働が生まれることが望ましいが、協働の将来は必ずしも「ばら色」ではない。本発表ではまず、社会資本マネジメントに関わる主体の直面する問題を抽出し、その発生メカニズムを分析するとともに、問題解決に向けてジレンマを克服する過程での NPO が果たす役割について言及する。

ついで、行政と NPO の連携促進の視点から、NPO への要求性能を整理し、行政と NPO との役割分担や公共調達のための指針を提案する。

最後に、NPO 協働論として、NPO が健全に活躍できる環境整備がなされることにより、新しい市民関与による社会システムが創出される可能性について言及するものである。

2. 社会資本マネジメントに関わる主体の直面するジレンマ

社会資本マネジメントに関与する主体は、何に不満をもち、どのような問題に直面しているのか、また、その問題は如何なる特性を有するが故に解決が困難となるのであろうか、この問いについて科学的視点から考察することが本研究の目的の1つである。

市民には、相談窓口の不完備、情報開示・共有不足、決定プロセスの不透明等、行政とのコミュニケーションや合意形成に帰着する問題「こまった」がある。企業には、測量・調査・設計・施工の履行において合意形成に帰着する不確実性の問題がある。行政には、市民の多様化する価値やニーズへの対応に帰着する問題があり、その民主的集約プロセスとして、市民参加や合意形成に取り組みざるを得ない状況にある。現状では、合意形成のための社会的枠組みやそれを支援する技術は十分に確立されておらず、関与主体間での無秩序な対話からジレンマ状態に陥っている。これらの背景と現状を踏まえ、社会資本マネジメントにおける合意形成の課題を整理するとともに、各主体の保有するオプションでは解決できないジレンマの存在と、その克服の過程で NPO が果たし得る役割とその可能性について言及する。

- 2.1 社会資本マネジメントに関与する主体と社会的役割
・市民、行政、企業、NPO による新たな社会像を求めて
- 2.2 住民が直面する問題：住民の「こまった」とは
・行政データに埋没する潜在的不満とその蓄積
- 2.3 行政が直面する問題：行政の「こまった」とは
・多様化する価値やニーズへの対応
- 2.4 企業が直面する問題：企業の「こまった」とは
・合意形成に帰着する不確実性への対応
- 2.5 社会資本マネジメントにおける市民参加と合意形成

- 2.5.1 市民参加と合意形成の必要性と現状
- 2.5.2 段階的合意形成プロセス
- 2.5.3 事業特性・地域特性に応じた合意形成プロセス
 - ・ 事業予算、 事業特性、 地域特性、 法令規定が合意形成に及ぼす影響
- 2.5.4 交渉学的視角からの合意形成
 - ・ 立場駆け引き型交渉から原則立脚型交渉へ（第三者の参加と支援の必要性）
- 2.6 合意形成に関する「こまった」発生メカニズムの分析
 - 2.6.1 ドラマ理論の基本概念と特色
 - 2.6.2 ドラマ理論を用いた合意形成分析
 - ・ モデル構築の基本方針と手順（ジレンマ、強い均衡点、シナリオ展開則）
 - 2.6.3 道路整備事業における事例研究
 - ・ 対照的特色を有する事業の比較分析（利害対立モデルと利害一致モデル）
 - ・ シナリオに影響を及ぼす5つのインセンティブキー
 - ・ 合意形成シナリオの特色と形態、
 - ・ インセンティブキーの実現可能性とNPOの役割
- 2.7 NPOが直面する問題：NPOの「こまった」とは
 - ・ 経営基盤の脆弱性に帰着するジレンマの存在
- 2.8 ジレンマ克服に向けて - NPOが果たす役割 -

3．社会資本マネジメントにおける行政とNPOとの連携：NPO連携論

ここでは、「各主体における問題と主体の役割に関する整理」のうち、社会資本整備において特に重要な役割を果たしている行政に着目し、「NPO活動の事例分析」並びに既往文献をもとに、行政が主導でNPOと連携し「こまった」を解決しようとした際にどのようなことが課題で、それらを解決するためにはどうすればいいかを整理したものである。

- 3.1 NPOとの連携の意義
 - 3.1.1 社会資本マネジメントを取り巻く状況
 - 3.1.2 NPOと社会資本との関わり
- 3.2 行政機関におけるこれまでの取組
 - 3.2.1 国土交通省の取り組み
 - 3.2.2 地方公共団体の取り組み
- 3.3 NPOとの連携の方法
 - 3.3.1 連携の形態
 - 3.3.2 契約のあり方
- 3.4 連携効果のモニタリング

4．社会資本マネジメントにおける協働の方向性

社会資本マネジメントにおける協働のあり方を示す。NPOが健全に活躍できる環境整備がなされることで、社会資本整備における新たな市民関与形態が生まれ、その進化的発展は、新たな社会システムを創出する可能性と期待をひめていることを検証する。

- 4.1 何のための協働か
 - 4.1.1 介護保険の例

4.1.2 社会資本マネジメントにおける協働の必要性

4.2 協働とは

4.2.1 協働の方法

4.2.2 社会資本マネジメントにおける協働の現状と課題の一例

4.2.3 公共請負工事における協働

4.3 事例研究にみる協働の特徴

4.4 協働における役割分担

4.5 協働型社会実現に向けて